

80周年記念誌

東京農業大学

農友会 自動車部

目次

- 活動記録 1
 - ・ 平成 16 年度 2
 - ・ 平成 17 年度 5
 - ・ 平成 18 年度 9
 - ・ 平成 19 年度 12
 - ・ 平成 20 年度 15
 - ・ 平成 21 年度 19
 - ・ 平成 22 年度 23
 - ・ 平成 23 年度 27
 - ・ 平成 24 年度 31
 - ・ 平成 25 年度 33
- 思い出の部車たち 36
- 80周年記念祝賀会 41

活動記録

平成16（2004）年度



主将 平井 和典

この度は農友会自動車部創部80周年、誠におめでとうございます。平成16年度、主将を務めさせていただきました平井です。私が主将を務めた頃から早10年、歴史の重みをひしひしと感じている次第であります。

私の現役当時は同期もおらず、部員を集めること自体が難しくなり、入部したらやめさせないようにとルールも甘くなり、結果として一時は統制が取れにくくなるという事態にもなりました。そこで私を含め当時の現役部員は部員数の維持よりも部活動としての存在

意義を重視しての運営を心掛けるようになりました。部としてきちんと動いていれば、厳しいルールが存在するのは当然ですが、同時に充実した時間も生まれ、部員数の減少にはつながらないと考えたからです。また、部の体制を整え徹底し、各自に自動車部員という自覚を持たせることで、部活外においても責任ある行動を求められるのではないかと思います。

同期がいない中で、一癖も二癖もある後輩達をまとめあげるのは本当に苦労しましたが、これらの経験をしてきたことで、自分自身に人をまとめていく力や部活動という組織を運営する力を身に付けることができ、社会人となった今でも非常に役に立っています。

最後になりましたが、現役当時にいろいろな面でお世話になった部長先生。監督、コーチをはじめとするOBの方々や、共に辛いことや苦しいことも乗り越えてきた後輩達にこの場を借りて改めて感謝致します。

○平成16年期メンバー

平井 和典（工学）

○平成16年度試合結果

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成16年5月4日（於：富士スピードウェイ ジムカーナコース）

男子団体 7位

女子団体 準優勝

男子個人 石川高靖 9位

女子個人 小林尚美 3位

河野行広 24位

榎本 梓 7位

野口慧太 25位

・全関東学生ダートトライアル選手権大会

平成16年6月27日（於：丸和オートランド那須）

男子団体	10位	女子団体	準優勝
男子個人	石川高靖 25位	女子個人	小林尚美 優勝
	根本嘉一 29位		福永さやか 6位
	伊藤直也 34位		

・全日本学生ダートトライアル選手権大会

平成16年8月8日（於：テクニクスステージタカタ）

男子団体	10位	女子団体	3位
男子個人	野口慧太 16位	女子個人	小林尚美 優勝
	河野行広 32位		福永さやか 6位
	根本嘉一 34位		

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成16年8月20日, 21日（於：鈴鹿サーキット 南コース）

男子団体	11位	女子団体	準優勝
男子個人	石川高靖 21位	女子個人	小林尚美 優勝
	根本嘉一 44位		榎本 梓 4位
	野口慧太 55位		

・全日本学生運転競技選手権大会

平成16年11月28日（於：日通自動車学校）

男子団体	3位	女子団体	準優勝
男子個人	河野行広（小型乗用） 6位	女子個人	小林尚美（小型乗用） 優勝
	根本嘉一（小型乗用） 6位		榎本 梓（小型貨物） 3位
	石川高靖（小型貨物） 優勝		
	平井和典（小型貨物） 3位		

・全関東学生運転競技選手権大会

平成17年3月20日（於：日通自動車学校）

団体	12位
個人	根本嘉一（小型乗用） 6位
	岡 智史（小型貨物） 6位
	榎本 梓（小型貨物） 9位
	塚谷剛史（小型貨物） 11位

平成16年度



平成17（2005）年度



主将 石川 高靖

この度は農友会自動車部創部80周年誠におめでとう御座います。また幾多の困難を乗り越え、現在まで連綿と自動車部を残してくれた現役部員や後輩の皆さん、それを支えて頂きましたOB・OGの皆様方にはお礼を申し上げます。

私達が70周年の記念式典の準備をしていた現役時代より、早10年が経つという事実は驚きと共に一抹の寂しさも感じます。それ程までに現役時代は忙しくも楽しい時間を過ごすことが出来たのだなと思っています。

自動車部とは言っても、車が好きで入部してきた人や、なんとなくの興味で入部してきた人もいるわけで、考え方は人それぞれ。ひたすら車の改造や大会の結果ばかりを重んじていても、それは個人で競技をしているのと同じになってしまい、一部の人間しか残らなくなってしまいます。私が主将として4年生を迎えた時に当時考えていた事は、皆で日本一を目指したいという事でした。年を経る毎に1人、また1人と部を去って行く同期や後輩を見送って、どうしたら皆で一緒に自動車部を卒業出来るのだろうと考えていました。同じ農大でも学部学科により中々フルタイムで部活に参加出来ないメンバーもいますが、毎週ミーティング時間を持ち、意思統一をした上で大会上位を目指したり、後輩の為に新人戦やお花見を企画したりと遅くまで話し合った後は、農大通りに食事をしに行くというのも良い思い出になっています。そうして私達も卒業をし、OB・OGとなりましたが、今も集まれば話に花が咲く仲間のままです。

話は変わり記念式典はOB・OGが主役のような形で、現役当時はあまり面白いものでなかった記憶があります。社会人になって今感じる事は、現役世代を支えてくれたOB・OGの皆さん方がどれだけ自らの時間を割いて私達を支援してくれていたのかという事で、自らの現状と照らしてその事を痛感しております。

自動車部はなんだかんだ言ってもお金のかかる部活です。そもそも練習するだけで一日バイトした給料が飛んでいってしまいます。そんな中で、資金援助だけでなくコーチングや場所の提供、車の調達等、数知れない応援を受けなんとかやってきました。

自分たちが今、大切な仲間を持てている事。そして今の現役世代にもその喜びを知ってほしいと思っているからこそそのOB会なのだと思います。現役の皆さんには是非その期待の大きさを知ってもらい、より良い自動車部ライフへ邁進して頂きたいと思います。

また、後輩の育成にも力を注いで頂いて、次の90周年を今の現役世代も私達と共に笑顔で迎えられる事を切望し、これからも応援して行きたいと思います。

○平成17年期メンバー

石川 高靖 (経済)	木村 亮祐 (短生)
伊藤 直也 (経済)	木村 尚美 (化学, 旧姓: 小林)
野口 慧太 (工学)	河野 行広 (造園)
福永 さやか (バイオ)	榎本 翔 (工学)
福井 佳代 (短栄, 旧姓: 村瀬, 平成 15 年卒)	神谷 さつき (短栄, 旧姓: 西, 平成 15 年卒)

○平成17年度試合結果

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成 17 年 5 月 22 日 (於: 富士スピードウェイ ジムカーナコース)

男子団体 7 位	女子団体 記録なし
男子個人 木村亮祐 17 位	女子個人 榎本 梓 優勝
石川高靖 21 位	赤間奈緒 記録なし
河野行広 23 位	

・全関東学生ダートトライアル選手権大会

平成 17 年 6 月 26 日 (於: 丸和オートランド那須)

男子団体 8 位	女子団体 優勝
男子個人 石川高靖 8 位	女子個人 小林尚美 優勝
木村亮祐 16 位	福永さやか 3 位
根本嘉一 33 位	

・全日本学生ダートトライアル選手権大会

平成 17 年 8 月 7 日 (於: 丸和オートランド那須)

男子団体 7 位	女子団体 準優勝
男子個人 石川高靖 15 位	女子個人 小林尚美 優勝
木村亮祐 28 位	赤間奈緒 5 位
伊藤直也 29 位	

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成 17 年 8 月 20 日, 21 日 (於: 鈴鹿サーキット 南コース)

男子団体 4 位	女子団体 優勝
男子個人 石川高靖 4 位	女子個人 小林尚美 優勝
木村亮祐 22 位	榎本 梓 3 位
河野行広 42 位	

・全日本学生運転競技選手権大会

平成 17 年 11 月 27 日（於：近鉄自動車学校）

男子団体 9 位

女子団体 優勝

男子個人 野口慧太（小型乗用） D.O

女子個人 小林尚美（小型乗用） 優勝

河野行広（小型乗用） D.O

榎本 梓（小型貨物） 3 位

石川高靖（小型貨物） 6 位

伊藤直也（小型貨物） 8 位

・全関東学生運転競技選手権大会

平成 18 年 3 月 19 日（於：日通自動車学校）

団体 12 位

個人 小倉和也（小型乗用） 18 位

白崎敦子（小型乗用） 42 位

塚谷剛史（小型貨物） 8 位

赤間奈緒（小型貨物） 35 位

平成17年度



平成18（2006）年度



創 早いもので私が卒業してから8年が経ちました。今回、創部80周年ということで現役時代を振り返る機会をいただきました。

現役時代を振り返ると本当に忙しい4年間だったと記憶しています。練習会や大会に向けての整備で忙しかったのもそうですが、部を運営していくうえでたびたび先輩や同期と意見の食い違いでもめたこともありました。その他いろいろなこともあり坊主頭の常連となっていました、それも今では良い思い出です。

主将としてはお世辞にも優秀とは言えませんでした。最後には全員が一丸となって頑張り、有意義な自動車部生活を送ることができたと思います。それも監督やコーチ、その他大勢のOB・OGからいろんな場面でご指導いただいたおかげです。本当に有難うございました。

最近とは疎遠になっておりますが、これから先の90周年、100周年に向けて農大自動車部のますますの発展を祈念しつつ、陰ながら見守りたいと思います。

○平成18年期メンバー

根本 嘉一（開発）
松尾 洋輔（化学）
岡 智史（造園）
新井 信元（畜産）

榎本 梓（森林）
花井 崇臣（農学）
山田 友世（短緑、平成17年卒）
小泉 敬一郎（短生、他界、平成17年卒）

○平成18年度試合結果

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成18年5月28日（於：富士スピードウェイ ジムカーナコース）

男子団体 4位

女子団体 準優勝

男子個人 根本嘉一 6位

女子個人 榎本 梓 準優勝

塚谷剛史 19位

赤間奈緒 3位

新井信元 25位

・全関東学生ダートトライアル選手権大会

平成18年6月25日（於：丸和オートランド那須）

男子団体	12位	女子団体	優勝
男子個人	塚谷剛史 27位	女子個人	榎本 梓 優勝
	佐々木翔太 39位		赤間奈緒 準優勝
	竹川賢吾 40位		

・全日本学生ダートトライアル選手権大会

平成18年8月6日（於：テクニクスステージタカタ）

男子団体	5位	女子団体	優勝
男子個人	佐々木翔太 14位	女子個人	榎本 梓 優勝
	新井信元 22位		赤間奈緒 準優勝
	塚谷剛史 28位		

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成18年8月19日、20日（於：鈴鹿サーキット 南コース）

男子団体	10位	女子団体	優勝
男子個人	新井信元 22位	女子個人	榎本 梓 優勝
	塚谷剛史 30位		赤間奈緒 3位
	根本嘉一 43位		

・全日本学生運転競技選手権大会

平成18年11月19日（於：日通自動車学校）

男子団体	9位	女子団体	優勝
男子個人	根本嘉一（小型乗用） 4位	女子個人	白崎敦子（小型乗用） 準優勝
	小倉和也（小型乗用） 8位		榎本 梓（小型貨物） 準優勝
	塚谷剛史（小型貨物） 5位		
	岡 智史（小型貨物） D.O		

・全関東学生運転競技選手権大会

平成18年3月19日（於：慶應義塾大学日吉キャンパス）

男子団体	9位	女子団体	優勝
男子個人	引地朋哉（小型乗用） 4位	女子個人	白崎敦子（小型乗用） 優勝
	横山孝泰（小型乗用） D.O		赤間奈緒（小型貨物） T.O
	佐々木翔太（小型貨物） 6位		
	江本知文（小型貨物） T.O		

平成18年度



平成19（2007）年度



主将 白崎 敦子

この度、農友会自動車部が80周年を迎えるにあたり「現役時代の思い出」ということで当時を振り返る機会をいただいています。

思い返すと、入部当初部活は女性も多くにぎやかな雰囲気、いつも楽しそうに活動していた先輩たちの代への憧れの気持ちが強かったことを覚えています。初めてのことはばかりで全てが新鮮だったこと、部長先生からいただいた卵でゆで卵ばかり食べていたこと、ドラナビの組み合わせに一喜一憂していたこと、面倒見のいい先輩に巡り合えたこと、良い記

憶ばかりが蘇ってきます。

それでも年次を重ねるにしたがい人間関係の難しさを知り、与えられるばかりの頃とは異なる緊張感の中で活動するようになっていきました。後悔するシーンも多くありました。そんな中、最終年次も日々の活動を笑顔で行うことができたのはポジティブでエネルギッシュな同期と、しっかり者で真面目で明るく一生懸命な後輩たちに恵まれたおかげだったと感じています。

4年間の中でも前半・後半と感じるところは異なっても、今、共通して感じるがあります。

フィギア練習の時ほどの大声を出す機会も、おかしなテンションになることも卒業以来経験していません。今後ラリーの「チーン」を聞くこともおそくないでしょう。そしてモータースポーツを離れてしまった今、今後ダートのような緊張感やジムカーナのような高揚感を体験する機会はないかもしれません。

今改めて、あのときもっとこう出来ていたら・・・と思うことも多くありますが、それも含めてこの4年間が貴重な時間だったと感じます。

この度、農友会自動車部が80周年を迎えたということでとても素晴らしいことだと思います。これから先10年後、20年後の部員にとってもこの2年間もしくは4年間が貴重な時間になることを信じ、大切に過ごしてほしいと思います。

〇平成19年期メンバー

白崎 敦子（化学）

亀山 奈緒（開発、旧姓：赤間）

塚谷 剛史（企業、平成19年卒業）

○平成19年度試合結果

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成19年5月26日（於：浅間台スポーツランド）

男子団体	10位	女子団体	優勝
男子個人	引地朋哉 25位	女子個人	赤間奈緒 優勝
	横山孝泰 28位		河野華子 3位
	佐々木翔太 32位		

・全関東学生ダートトライアル選手権大会

平成19年6月24日（於：丸和オートランド那須）

男子団体	6位		
男子個人	横山孝泰 15位	女子個人	赤間奈緒 優勝
	引地朋哉 16位		河野華子 3位
	佐々木翔太 17位		

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成19年8月25日、26日（於：鈴鹿サーキット 南コース）

男子団体	10位	女子団体	優勝
男子個人	佐々木翔太 28位	女子個人	河野華子 5位
	亀山英昭 41位		赤間奈緒 6位
	江本知文 42位		

・全日本学生自動車運転競技大会

平成19年11月26日（於：近鉄自動車学校）

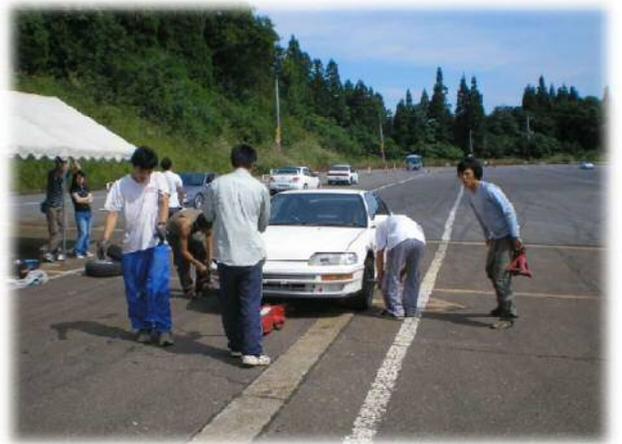
男子団体	14位	女子団体	3位
男子個人	引地朋哉（小型乗用） 17位	女子個人	白崎敦子（小型乗用） T.O
	吉浜雄作（小型乗用） 17位		赤間奈緒（小型貨物） 4位
	佐々木翔太（小型貨物） 10位		
	江本知文（小型貨物） 13位		

・全関東学生自動車運転競技大会

平成20年3月23日（慶應義塾大学日吉キャンパス）

男子団体	8位	女子団体	準優勝
男子個人	引地朋哉（小型乗用） 優勝	女子個人	延味真由（小型乗用） T.O
	亀山英昭（小型乗用） 15位		河野華子（小型貨物） 2位
	佐々木翔太（小型貨物） 6位		
	新井拓実（小型貨物） T.O		

平成19年度



平成20（2008）年度



主将 横山 孝泰

創部 80 年おめでとうございます！心からお祝い申し上げます。

諸先輩方に気合が足りないとお叱りを受けるなか、平成 20 年「追いつけ追い越せ他大学」をキャッチフレーズに全日本優勝を目指したと記憶しております。

当時の私たちの試合車輛、運転技術は残念ながら全日本学生大会で通用するレベルではありませんでした。目標達成のために、車輛、運転練習の二方向から大幅に変更して挑みました。

ジムカーナ男子試合車であるEK4シビックにインテグラのエンジンを載せて走行性能の向上を図りました。3年前から放置してあった安全タンクも復活させて軽量化にも取り組みました。アライメントは先輩方からのアドバイスを参考に生意気にも本物の全日本戦を意識したハードなものにしました。女子ジムカーナ車輛は、ドライバーの意見を参考に乗りやすい車为目标として仕様変更しました。それまでは、触媒レスのほぼハラシタチョッカ仕様でしたが、あまりにも音量が大きかったので、消音器つきのものに変更しました。

ダートトライアル用EP82車輛は、当たり前のことですが、「まともなショック」「まともなタイヤ」を使用して大会はもとより、練習会についても「まともなクルマ」で参加するようにしました。この効果は期待以上で、今まで「運任せ」で走っていた丸和を制御して走れるようになったようでした。

一番重要な運転技術についても改善した点があります。とにかく練習量が足りていませんでした。自動車部員も一応、大学生であり平日は授業があるのですが、参加者が少なくたくさん練習できる平日練習会に積極的に参加するようにし、藤本先生には公休届で協力して頂きました。平日の茂木北、六輪舎や丸和でかなりの量を練習することができました。ダート場の丸和には年間15回、ジムカーナは30回程度で例年の二倍程度参加しました。水野監督に購入していただいた動画で走行を検証するソフトや当時の一、二年生に撮影してもらった動画を駆使して他の大学や部内で比較して練習の質の向上についても改善しました。

フィギアでは、練習の段階から試合で使用されるベルタとダイナを用意して練習しました。とくに、独特の操作が必要なコラムオートマの標準低床のダイナを見つけるのが大変でレンタカー屋に二十件ほど連絡してやっと茨城のレンタカー屋で見つけることができました。

「良い車、良い練習」を目標達成のために意識的につくりあげた成果か、全日本学生運転競技選手権大会、全日本学生ジムカーナ選手権大会、全日本学生ダートトライアル選手権大会で「追いつけ追い越せ・・・」でき始めるようになりました。そして、活躍を認めて頂き名誉ある「農友会会長賞」を表彰して頂きました。すばらしい賞をとることができたのも藤本先生、水野監督、内藤コーチ、吉田コーチ、練習場提供していただいた神納さん、整備指導していただいた清水さんと思いとても感謝しております。

素晴らしい人生の経験を与え、自動車の楽しさを教えてくれる農友会自動車部が永遠に活動をしていくことを祈念しております。

○平成20年期メンバー

横山 孝泰 (化学)	江本 知文 (ビジネス)
佐々木 翔太 (工学)	河野 華子 (造園)
引地 朋哉 (ビジネス)	竹川 賢吾 (造園)
岡 圭介 (短醸, 平成19年卒)	吉浜 雄作 (森林)

○平成20年試合結果

・全関東学生ダートトライアル選手権大会

平成20年5月25日 (於: 丸和オートランド那須)

男子団体 3位

男子個人	佐々木翔太	準優勝	女子個人	河野華子	優勝
	横山孝泰	19位		松野友美	5位
	引地朋哉	21位			

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成20年6月29日 (於: 富士スピードウェイ)

男子団体 15位

女子団体 準優勝

男子個人	佐々木翔太	8位	女子個人	河野華子	優勝
	横山孝泰	46位		松野友美	3位
	江本知文	60位			

・全日本学生ダートトライアル選手権大会

平成20年5月25日 (於: 丸和オートランド那須)

男子団体 準優勝

男子個人	佐々木翔太	2位	女子個人	河野華子	優勝
	横山孝泰	13位			
	引地朋哉	21位			

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成20年8月30日, 31日 (於: 鈴鹿サーキット 南コース)

男子団体	—	横山孝泰	23位	
男子個人	佐々木翔太	11位	亀山英昭	—

女子個人 河野華子 優勝

・全日本学生自動車運転競技大会

平成 20 年 11 月 30 日（於：日通自動車学校）

男子団体 4 位

女子団体 優勝

男子個人 引地朋哉（小型乗用） 5 位

女子個人 松野友美（小型乗用） 2 位

亀山英昭（小型乗用） 7 位

河野華子（小型貨物） 2 位

江本知文（小型貨物） 4 位

佐々木翔太（小型貨物） 7 位

平成20年度



平成21（2009）年度



皆様ご無沙汰しております。平成21年度卒部いたしました亀山英昭です。

自動車部を卒部してからも年に数回はサーキットを走っております。

以前はチューンドのRX-7に乗っておりましたが、今は落ち着いてノーマルのインプレッサになりました。現在は家業のメロン農家を継いで農家をやっております。

また2013年11月に当時2年先輩である奈緒（旧姓赤間）と結婚し幸せな家庭を築いております。

自分の大学生活を思い起こすと、自動車部での思い出しかない気がします・・・
勉強の思い出は、再試の苦痛以外あまり覚えていません。それほど部活が楽しかったです。現役当時、自分のアパートは経堂駅から非常に近く同期はもちろん先輩・後輩またOBの方たちもアパートにたまっていました。その中でもある二人の先輩はほぼ毎日いた気がします。それは自分の1学年上の引地先輩と岡先輩です。引地先輩は趣味志向が似ていたため、入部当初から面倒を見てもらいました。岡先輩は・・・ほぼ住んでましたね。もちろん同期も家に来ていました。遅くまで酒を飲み次の日は昼まで寝るという典型的なダメな大学生をしていました。

とにかくいつも部員と一緒にいた気がします。諸先輩方も同じでしょうが、今でも当時の部員とは付き合いがあります。部活で得たもので一番大切なものは仲間です。だからこそ、このような大切なものが得られる農友会自動車部をさらに発展させていくため、これからも微力ながら協力させていただきます。

失礼いたします。

○平成21年期メンバー

亀山 英昭（経済）

行縄 耕（工学）

新井 拓実（開発，平成21年卒）

八須 正和（短生，平成20年卒）

酒井 謙（短醸，平成20年卒）

○平成21年試合結果

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成21年5月24日（於：富士スピードウェイ）

男子団体 4位

男子個人	行縄 耕	6位	女子個人	松野友美	準優勝
	亀山英昭	14位			
	斎藤貴文	18位			

・全関東学生ダートトライアル選手権大会

平成21年6月21日（於：丸和オートランド那須）

男子団体 7位

男子個人	斎藤貴文	19位	女子個人	松野友美	準優勝
	行縄 耕	20位		延味真由	5位
	亀山英昭	23位			

・全日本学生ダートトライアル選手権大会

平成21年8月9日（於：テクニクスステージタカタ）

男子団体 13位

男子個人	斎藤貴文	31位	女子個人	松野友美	4位
	亀山英昭	40位			
	柳川裕作	50位			

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成21年8月29日、30日（於：鈴鹿サーキット 南コース）

男子団体 5位

男子個人	亀山英昭	28位	女子個人	松野友美	4位
	柳川裕作	41位			
	行縄 耕	42位			

・全日本学生自動車運転競技大会

平成21年11月29日（於：近鉄自動車学校）

男子団体 17位

女子団体 3位

男子個人	亀山英昭（小型乗用）	15位	女子個人	松野友美（小型乗用）	3位
	斎藤貴文（小型乗用）	D.O		井出圭美（小型貨物）	3位
	柳川裕作（小型貨物）	4位			
	行縄 耕（小型貨物）	16位			

・全関東学生自動車運転競技大会

平成 22 年 3 月 21 日（慶應義塾大学日吉キャンパス）

男子団体	10 位		女子団体	優勝	
男子個人	斎藤貴文（小型乗用）	12 位	女子個人	松野友美（小型乗用）	優勝
	富田泰輔（小型乗用）	T.O		井出圭美（小型貨物）	優勝
	柳川裕作（小型貨物）	6 位			
	重光慶祐（小型貨物）	—			

平成21年度



平成22（2010）年度



主将 齋藤 貴文

創部80周年おめでとうございます。平成22年度主将を務めさせていただきました齋藤と申します。

私が在籍していた4年間、振り返ろうとしても何かあったのか思い出せないほど様々な事がありました。大好きな車と接し、個性的な部員達との刺激的な活動の日々。本当に1年1年があっという間だった気がします。しかし楽しい事ばかりではないのもまた事実。中型免許の登場によるバス・トラックドライバーの法的制限。年々減少していく部員数。それに伴い部員にのしかかる金銭的な問題。厳しい状況が続きました。

チームとして活動していくわけですから、当然意見の食い違いからぶつかり合うこともありました。

しかし今では大学4年間を自動車部で過ごせて本当に良かったと思っています。なぜなら、多くの仲間と出会い、そして苦楽を共にしてきた時間はかけがえの無い物だからです。自動車部での経験を通して自分も人間として一回り成長することができたと思います。このような濃密な時間は、バイトやサークルでは過ごすことができなかつたと私は思っています。自動車部の4年間は一生の宝物です。

最後に、現役部員の皆さん。部活動でやらなければいけない事はあります。しかしそれとは別に皆さんそれぞれがやりがいを感じている部分があると思います。その気持ちは絶対に忘れないでください。やることに追われ辛い時もあると思いますが、やり抜いた先に見えてくる物が必ずあります。4年間後ろを振り返らず走り続けてください。車も自動車部も、試練は与えますが決して努力を裏切るようなことはしません。

○平成22年期メンバー

齋藤 貴文（栄養）

松野 友美（経済）

岡澤 健一郎（工学）

延味 真由（工学）

柳川 裕作（醸造）

○平成22年試合結果

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成22年5月23日（於：富士スピードウェイ ジムカーナコース）

男子団体	7位	女子団体	優勝
男子個人	斎藤貴文 11位	女子個人	井出圭美 優勝
	柳川裕作 37位		松野友美 準優勝
	重光慶祐 42位		

・全関東学生ダートトライアル選手権大会

平成22年6月19日（於：丸和オートランド那須）

男子団体	8位	女子個人	井出圭美 優勝
男子個人	斎藤貴文 13位		松野友美 準優勝
	柳川裕作 19位		
	重光慶祐 35位		

・全日本学生ダートトライアル選手権大会

平成22年8月8日（於：丸和オートランド那須）

男子団体	7位	女子団体	優勝
男子個人	斎藤貴文 11位	女子個人	井出圭美 準優勝
	柳川裕作 27位		松野友美 3位
	重光慶祐 41位		

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成22年8月28日，29日（於：鈴鹿サーキット 南コース）

男子団体	—	女子団体	優勝
男子個人	斎藤貴文 41位	女子個人	井出圭美 準優勝
	岡沢健一郎 94位		松野友美 3位
	重光慶祐 —		

・全日本学生運転競技選手権大会

平成22年11月21日（於：日通自動車学校）

男子団体	9位	女子団体	優勝
男子個人	百瀬恭太郎（小型乗用）6位	女子個人	松野友美（小型乗用）優勝
	斎藤貴文（小型乗用）8位		井出圭美（小型貨物）準優勝
	柳川裕作（小型貨物）9位		
	重光慶祐（小型貨物）14位		

・全関東学生運転競技選手権大会

平成 23 年 10 月 23 日（於：慶應義塾大学日吉キャンパス）

男子団体 ー

女子団体 優勝

男子個人 百瀬恭太郎（小型乗用） D.O

女子個人 森川玲子（小型乗用） T.O

富田泰輔（小型乗用） T.O

井出圭美（小型貨物） 優勝

石岡慎一郎（小型貨物） T.O

佐藤慎也（小型貨物） T.O

平成23（2011）年度



主将 井出 圭美

お世話になっております。平成23年度主将のOG井出です。

この度、農友会自動車部が無事80周年を迎えられた事、大変嬉しく思います。

私が入部した当時、同期は4人おりましたが、1年が終わる頃には2人になり、残ったもう一人も最後の最後に辞めてしまい、私が卒業する頃、4年生は自分1人、3年生は2人、2年生は1人、1年生は3人、合計7人という、とても少ない状態でした。80周年式典の際、たくさんの現役部員を見れたこと、本当に

嬉しく思います。

私が4年生だった頃、真夜中の整備、広島・鈴鹿の遠征、震災により2カ月連続のフィギュアの大会、それもあり3カ月に3回の合宿、それらに付き合い、いつも支えてくれた後輩達だからこそ、ここまで部員を増やすことが出来たのだと思います。上級生が少ない分、大人数の後輩指導は本当に大変だったと思います。大会に参加できなかつたり、練習会に行けなかつたり、たくさんの悔しい辛い思いを強いられてきたと思います。しかしそれは後輩だけに止まらず、たくさんのOB・OGの方々にもあったことと思います。

私は4年生になるまで気づく事が出来ませんでした。部員が減り、存続が危ぶまれる恐ろしさ。部の存続とは何か。たくさんのOB・OGが受け継いできてくれた部活だからこそ、今自分がそこにいれるということ。だから絶対に途絶えさせてはいけないということ。社会人になって、私は農友会自動車部を卒業した事を嬉しく誇りに思っています。そう思える後輩がこれからも育ってほしいと思います。

1年生の頃、優勝を目指し鬼のように練習会に行く4年生についていくだけで必死の毎日。ただその中で、「自分は女子の部の個人で全6大会・全優勝してやろう」という目標をもらいました。2年生の頃、ドライブシャフトの修理や準備を任せてもらえるようになり、整備がとても楽しくなり、女子車両の面倒は自分でみると意気込んでいました。3年生の頃、自分が大会に出るからこそ絶対に勝ちたい。だから整備をもっと頑張る。それが部を支えることに繋がると信じていました。4年生の頃、1年生の時からの目標「全大会全優勝」を達成する事が出来ました。後輩達が支えてくれたからこそ叶った目標であり、夢でした。4年間で失ったものは沢山あります。でもそれと引き換えに得たものはちゃんとありました。今ではそれが私にとって最大の財産となりました。

農友会自動車部は、サークルではなく部活です。部活である以上、大会に出て結果を残すことは絶対です。その中で、現役部員には高い目標をもってもらいたいです。そして、その目標のために本当の意味で“一生懸命”になってもらいたいです。一生懸命やること、馬鹿なことを本気でやること、そこには必ず“楽しい”が付いてきます。一人の部員に与えられた現役部員という時間は最長で4年。楽しむために一生懸命になってください！

OB・OGの方々、これからも農友会自動車部が存続するために、時には一生懸命になる楽しいOB・OG生活をしませんか？現役部員がOB・OGを羨ましがるといふような♪

私、車に興味ありません。部活で使っていた車ぐらいしか。友達に「お前は車が好きなんじゃないくて、自動車部が好きなんだな」と言われました。確かにそうかもしれません(笑)これからも、この素敵な 農友会自動車部 がずっとずっと続きますように。

○平成23年期メンバー

井出 圭美 (栄養)

○平成23年試合結果

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成23年5月29日 (於：富士スピードウェイ ジムカーナコース)

男子団体 ー

男子個人	重光慶祐	11位	女子個人	井出圭美	優勝
	百瀬恭太郎	37位			
	木村拓海	ー			

・全関東学生ダートトライアル選手権大会

平成23年7月3日 (於：丸和オートランド那須)

男子団体 11位

男子個人	重光慶祐	28位	女子個人	井出圭美	優勝
	百瀬恭太郎	30位			
	木村拓海	32位			

・全日本学生ダートトライアル選手権大会

平成23年8月7日 (於：テクニクスステージタカタ)

男子団体 19位

男子個人	百瀬恭太郎	11位	女子個人	井出圭美	優勝
	富田泰輔	27位			
	重光慶祐	ー			

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成23年8月27日, 28日 (於：鈴鹿サーキット 南コース)

男子団体 25位

男子個人	百瀬恭太郎	53位	女子個人	井出圭美	優勝
	富田泰輔	60位			

・全関東学生運転競技選手権大会

平成 23 年 10 月 23 日（於：慶應義塾大学日吉キャンパス）

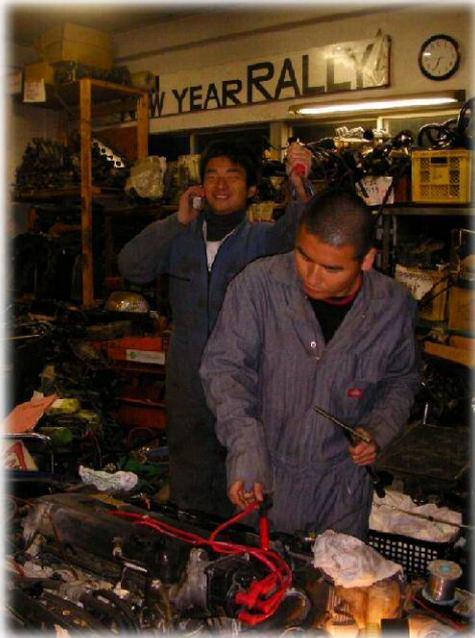
男子団体	—	女子団体	優勝
男子個人	百瀬恭太郎（小型乗用） D.O	女子個人	森川玲子（小型乗用） T.O
	富田泰輔（小型乗用） T.O		井出圭美（小型貨物） 優勝
	石岡慎一郎（小型貨物） T.O		
	佐藤慎也（小型貨物） T.O		

・全日本学生運転競技選手権大会

平成 23 年 11 月 27 日（於：近鉄自動車学校）

男子団体	19 位	女子団体	準優勝
男子個人	百瀬恭太郎（小型乗用） 10 位	女子個人	井出圭美（小型乗用） 優勝
	富田泰輔（小型乗用） T.O		森川玲子（小型貨物） 5 位
	石岡慎一郎（小型貨物） 8 位		
	佐藤慎也（小型貨物） 失格		

平成23年度



平成24（2012）年度



主将 富田 泰輔

考えてみると部に所属していた4年間はあっという間だったように感じられます。

1～3年はただ先輩方についていただけだった私も気がつくと最終学年、しかも主将の役目を担うことになりました。

この年の活動の始まりは厳しいものでした。

「1年を除いて部員6人であっても日々の活動をし、練習会を組み、大会に出る。今年度も昨年度と同じだろう。」そう思っていました。安全に作業出来る人数を確保する必要がある。新歓に専念するため大会

出場を見送る。」そのような方針になりました。結果としては少数集まりましたが、全関東戦が終わる頃には新生は居なくなっていました。

しかし悪いことだけではありませんでした。

どうしても大会に出たいと思い、内藤監督に無理を言って全日本ジムカーナに出場させていただいたこと、軽耐久でもチーム一丸となって大会に参加することの大切さを知ることが出来たことも良い経験になりました。

部活に参加している間は良いこと、悪いことがつきものですが、何事も後々良い思い出になるので現役には日々の活動を楽しんでもらえたらなと思います。

○平成24年期メンバー

富田 泰輔（経済）

木村 拓海（経済）

○平成24年試合結果

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成24年8月25日、26日（於：鈴鹿サーキット 南コース）

男子個人 石岡慎一郎 失格

女子個人 森川玲子 優勝

・全日本学生運転競技選手権大会

平成24年11月18日（於：日通自動車学校）

男子個人 石岡慎一郎（小型乗用） ー

百瀬恭太郎（小型乗用） ー

佐藤慎也（小型貨物） ー

女子個人 森川玲子（小型乗用） 6位

平成24年度



平成25（2013）年度



主将 百瀬 恭太郎

長いようで短い4年間。

これは卒業時の決まり文句ですが、私にとっては長いようで長い4年間でした。

私が上級生だった時は、よくも悪くも農友会自動車部の転換期。

人数はいない、車もまともなものがない、お金もトラックの分割払いでほとんど使えない。

部活動を行なうには、かなり厳しい状況だったと思います。

そんな状況でしたが、私が主将の頃に1年生が多く入ってきてくれたことで状況が改善し、現在では活気のある部活を行なっているそうです。

しかし1年生を多く入れるにあたり、制度など様々なことを変えてしまいました。

正直、私より上のOBが今の部活を見ると「え？なにこれ？」ということになるかもしれません。私自身ですら後輩と対立し、最後の1年間を団体組まずに終えることとなってしまいました。ですが、転換期も始まったばかり。今の部活を見て評価するのではなく、もう少し長いスパンで見て「良くなったな」「やっぱりこれじゃダメ」などの評価をすべきなのかな、というのが転換期1年目の主将の思いです。

さて話変わりますが、家の近くにスポーツランド山梨というサーキット場があり、学生時代から乗っているTZR125で二輪競技を始めようと考えています。

目標は格上の250cc勢を追い回すこと。

地区戦などそこまで本気ではやらないとは思いますが、この部活を通じて好きになったモータースポーツは続けていきたいと思っています。

もちろん自動車部関係でサーキットに集まることがあれば、愛車のカプチーノで参戦しますのでぜひ呼んでください。

○平成25年期メンバー

百瀬 恭太郎（醸造）

○平成25年試合結果

・全関東学生ジムカーナ選手権大会

平成25年5月11日（於：富士スピードウェイ ジムカーナコース）

男子個人 石岡慎一郎 一

女子個人 森川玲子 4位

・全日本学生ジムカーナ選手権大会

平成 25 年 8 月 24 日, 25 日 (於: 鈴鹿サーキット 南コース)

男子団体	—	女子団体	3 位
男子個人	石岡慎一郎 —	女子個人	森川玲子 8 位
	常住朋浩 —		河内桃子 10 位

・全関東学生運転競技選手権大会

平成 26 年 3 月 22 日 (於: 多摩コース自動車教習所)

男子団体	8 位	女子団体	4 位
男子個人	山崎裕也 (小型乗用) 6 位	女子個人	森川玲子 (小型乗用) 準優勝
	牧田大和 (小型乗用) 10 位		河内桃子 (小型貨物) T.O
	石岡慎一郎 (小型貨物) D.O		
	常住朋浩 (小型貨物) D.O		

平成25年度



思い出の部車たち

日産 ラルゴ

運用期間：平成 13 年 6 月 ～ 平成 21 年 9 月

高久OBよりいただく。移動はもちろん新人の教習から車中泊までこなすオールマイティ車。サポートカーとして長年活躍した。経年劣化によるオイル減りや異音が激しくなり、退役。



トヨタ カローラ

運用期間：平成 15 年 8 月 ～ 平成 25 年 12 月

レガシィに代わり導入されたセダン。長年、移動車輛・一年生の教習車輛として活躍。フィギュアでは小四練習車として活躍。ボックス練習中にパワステのオイルラインが破裂するほどハンドルが回された。経年劣化により退役するもジムカーナやフィギュアの練習に使用。



三菱ふそう ローザ

運用期間：平成15年12月～現在（陸上部）

70周年の際に新車購入。部員数の減少に伴い、使用頻度減。H22年までは陸上部と共用していたが、その後、全ての管理を陸上部に委譲。



三菱ふそう キャンター（パネル）

運用期間：平成15年12月～平成22年12月

70周年の際に新車購入。免許改正に伴い、乗れる現役がいなくなってしまう為、やむなく乗換え。



日産 セレナ（黒）

運用期間：平成 21 年 3 月 ～ 平成 25 年 3 月

平成 22 年期 柳川が発掘。長らくサポートカーとして活躍。経年劣化により
退役。



日産 セレナ

運用期間：平成 21 年 3 月 ～ 現在

本年度主将の石岡家の車入れ替えにより、当部へやってきた。



三菱ふそう キャンター（幌）

運用期間：平成22年12月 ～ 現在

免許改正後も現役が乗れるように規格を合わせて設計された幌車。



トヨタ プロボックス

運用期間：平成25年11月 ～ 現在

カローラに代わる車輜として用意された80周年記念品。車内装備は予算内で可能な限りのオプションを付け、ルーフキャリアも設けた特別仕様。



80 周年記念祝賀会

80周年記念祝賀会



0周年記念



創立80周年記念祝賀













～80周年記念事業委員より～

この度、東京農業大学農友会自動車部の80周年記念事業を行うに当たり、これまでの自動車部の活動やここ10年の歩みを振り返ることが出来ました。

その中で感じることは、70周年記念事業を行った頃と比べこの10年で自動車部を取り巻く環境がかなり変化してきていることです。若者の自動車離れが進む昨今、部員の減少に悩まされ活動が危ぶまれる中、以前行われていた農大新春ラリーといった大きなイベントを行うどころか学連の大会出場がかなわなかった時期もありました。それだけでなく多くの問題に直面した苦境の中で、各代の部員が悩み最後に振り返ればかけがえのない大学時代の経験として今に活着ていることは非常に素晴らしいことだと感じます。

これらも一重に諸先輩方の多大な支援をはじめ、学内外皆様方の御協力の賜物です。これからも東京農業大学農友会自動車部が次の10年を重ね90周年を迎えさらに盛り上がっていけるよう今後とも御指導、御協力をいただけたら幸いです。

最後になりましたが、この80周年記念事業を行うに当たり御支援、御協力をいただきましたことを御礼申し上げます。

80周年記念事業委員長 岡 圭介